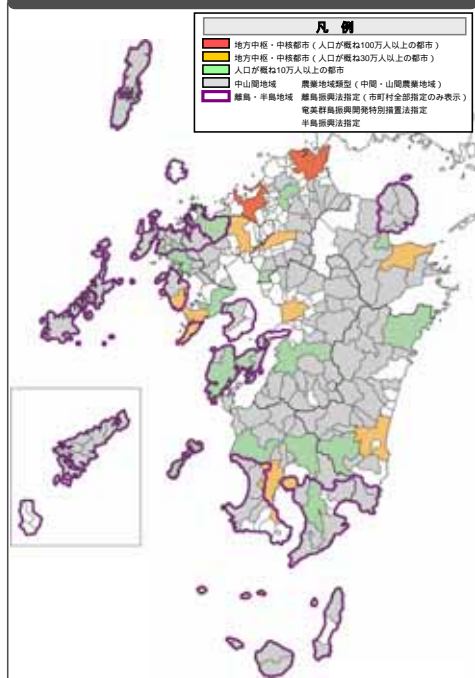
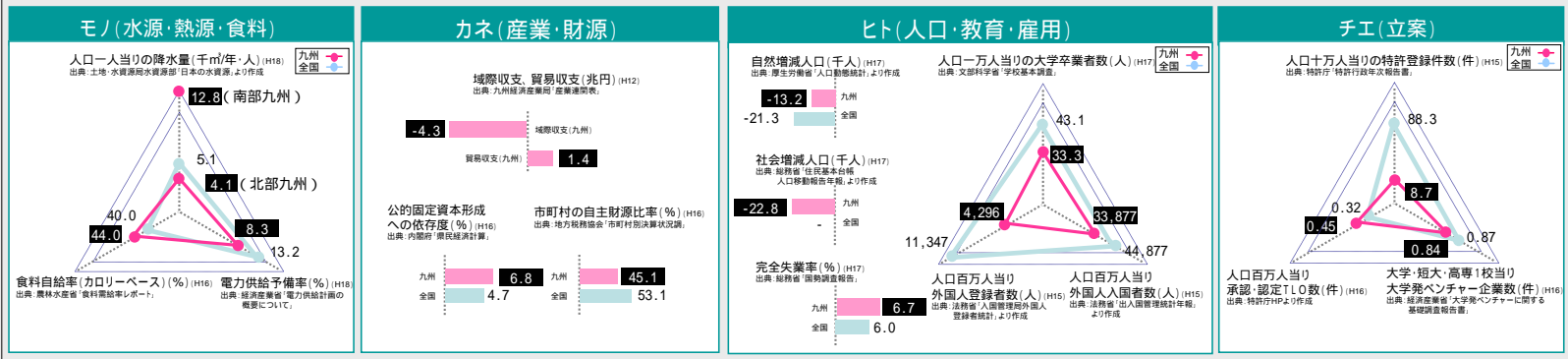


九州圏を取巻く状況について



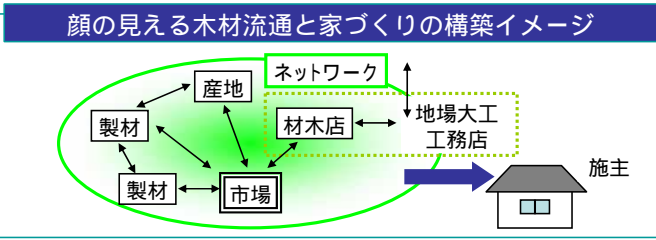
指標でみる九州圏の自立について



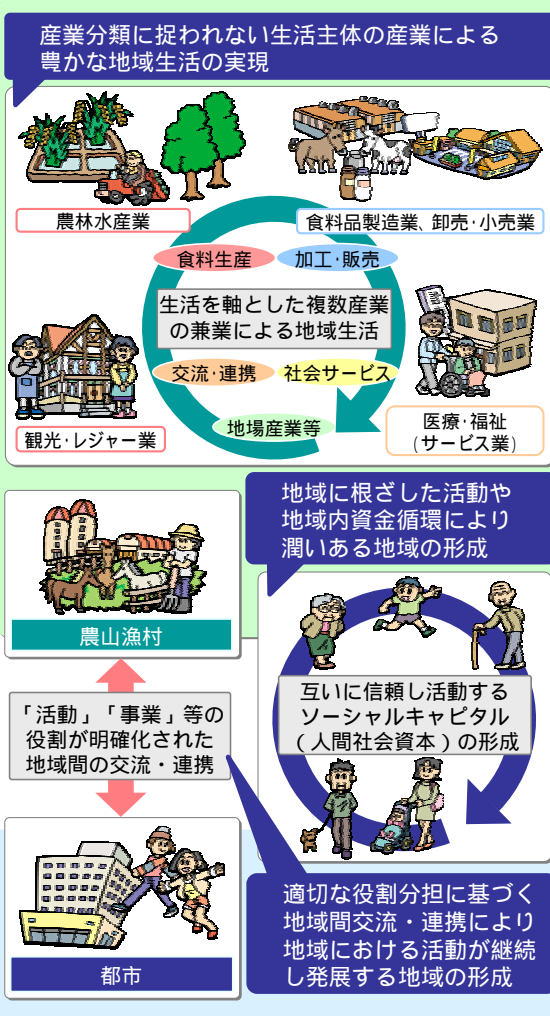
ゲストスピーカーからの提言

「自立した地域社会に向けて～顔の見える産業を考える」
松下生活研究所 代表 松下 修 氏

- ・地域内循環を考える
 - ・ソーシャルキャピタルの重要性の認識
 - ・農林産物の商品化だけでない流通を目指す
- 「顔の見える産業」による地域の自立的発展



これまでの議論で見えてくる将来イメージ



自立的発展における基本的整理

検討の視点

九州圏の置かれている状況を地域自らが考え解決する地域:

九州圏のそれぞれの地域が、九州圏の置かれている状況を自ら考え解決することを前提とし、地域の自助努力、主体的・総力的な取組み等により、地域の活性化を図る視点

自立と連携による持続可能な地域:

それぞれの地域が将来展望を有し、就業機会や社会的諸サービスを継続的に確保することで人の流れや経済の動き等を近づけるとともに、これら地域の互恵により九州圏の総合力が一層活発化するという好循環を生み出す視点

様々なライフスタイルを実現する地域:

多様化する価値観の中で様々な主体が目的を相互に共有して社会参画し、緩やかに連携しながら活動を継続することを促すような、新たな地域経営の形成を図る視点

議論の進め方

自助努力による地域づくり(第2回議論)

- ・九州圏のそれぞれの地域が、九州圏の置かれている状況を自ら考え判断し、持続可能な地域を形成するための議論

自立と連携による地域づくり(第3回議論)

- ・それぞれの地域が人、モノ、情報等の相互に補完・連携し、持続可能な地域を形成するための議論
- 他の論点は必要に応じて議論

9つの論点

- 論点1 東アジアにおける九州圏の自立と連携
- 論点2 地域資源の発掘、再評価、磨きによる地域力の結集
- 論点3 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成
- 論点4 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開
- 論点5 自立的な地域の機能補完的・戦略的な連携
- 論点6 維持・保全が危ぶまれる集落における将来選択
- 論点7 多様なライフスタイルを実現する交流・連携と定住の促進
- 論点8 住民主体の発意・活動による自助努力による地域づくり
- 論点9 地域の子育て力の強化

主な議論の内容

- 地域づくりの取組みは経済が根付きにくい
- ・地域資源を使っていかに地域に資金を残すか
- 中山間地域、中小都市の存亡が課題
- ・地域社会の継続が困難な地域は、自ら考え判断する動きにどう向かわせるか
- 農林水産業の所得は低く高齢化も進む地域を継続させる産業の議論が必要
- ・第2、第3の仕事地域資源を使っていかに成立させていくか
- ・離島を含めた中山間地域等の安定収入を実現するには「個別産業論」から「生活産業論」に転換すべき
- 地域社会の担い手は地域への定着が必要
- ・都市と農山漁村を結びつける取組みは、経済活性化に結びつく「事業」と経済に直接結びつかない「活動」に分ける時期

次回議論

自立的発展を目指す検討小委員会における論点整理の検討経緯等について

